

石川ゼミ学習の特徴

— 流行や風潮に流されない自分に —

● モットー

時事問題に明るい学生に！
時代を読み解く力を！
自分の意見を言える学生に！
世の中の流行や風潮に流されない自分に！



自分を **どう鍛えるか** 考えよう

→ 図書館 1 F の新聞・雑誌コーナーに入り浸ろう！

→ インターネットを大いに利用しよう！

● 参考図書など

- 1) 『日本の論点 2008』文芸春秋…ゼミ 1 年度（2 年生）で読破しよう
- 2) ニュース時事能力検定（N 検）にチャレンジしよう（2007 年からスタート）
…N 検の教材で N 検 3 級、2 年度（3 年生）に 2 級をめざそう！
- 3) 会計学の学習（3 年生から）は以上の学習をふまえておくことが大切。ただし、日商簿記 3 級はとっておくこと（11 月試験で合格）。

● 夏休みの課題（提出は 9 月の最初のゼミ）

次の本を読んで感想を A 4 用紙 1 枚にまとめなさい。

必修：「日本の論点」編集部編『10 年後の日本』（文春新書）

1 冊選択：阿部謹也『日本人の歴史認識』（岩波新書）、『「世間」とは何か』（講談社現代新書）、『「教養」とは何か』（講談社現代新書）…少し難しいかもしれないが、このような本を読める学生になってもらいたい！

（08 年 4 月 10 日）



2006年11月6日 玉川グランド

	担当者	配当学科等	単位
演習	石川純治	経済学科フレックスA 商学科：2年次対象	通年4単位

<演習のねらい>

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

<演習の内容・スケジュール>

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です。したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

<履修上の留意点>

将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

<成績評価の方法>

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

<教科書>

『日本の論点』（文藝春秋）など、その他必要に応じて指示します。

<参考書等>

その都度指示します。私のホームページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>）も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

演習	担当者	配当学科等	単位
	石川純治	経済学科フレックス A 商学科：3年次対象	通年4単位

<演習のねらい>

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

<演習の内容・スケジュール>

財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

<履修上の留意点>

将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

<成績評価の方法>

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

<教科書>

その都度指示します。

<参考書等>

その都度指示します。私のホームページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>）も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

<卒業研究の有無>

有



2006年11月11～12日 千葉富浦セミナーハウス合宿





福原先生の農園でミカン狩り



海ほたるPAから東京都心

私のゼミ

〈第107回〉

商学科2年

三澤 彩佳

経済学部

石川純治ゼミ



私たちのゼミは会計の知識だけでなく新聞や雑誌を通じて時事会計、つまり「生きた会計」を学ぶことができるゼミです。「本の中の会計」だ

けでなく、時代とともに変化する「社会の中の会計」を勉強しています。

2年次の目標は会計の基礎を作るべく、新聞や月刊誌の記事内容を理解することであり、日経新聞などの記事を先生から与えられたいくつかの設問を解きながら学習していきます。また、普段学ぶ機会の少ない簿記会計の歴史に触れることで、検定簿記のような資格試験では決して学ぶことのできない会計の奥深さを知ることが出来ます。これはとても重要なことであり、現在の会計、これからの会計にも必ず役立つものだと思熱心に勉強に取り組んでいます。

演習の時間以外にはソフトボール大会、ゼミコンパなどがあり、3・4年生とも交流を深めています。少人数制なので皆すぐに打ち解けることが出来る楽しいゼミです。さらにゼミ合宿では大学院生の方たちとも交流を持つことができるので、会計士や税理士を将来目指している学生にとっては大変勉強になります。こうした幅広い交流を持つことで、自主性のみならず社交性も養うことができます。このゼミで出会った先生や仲間たちはかけがえのない存在となり、このゼミで学んだことは一生の財産となることでしょう。



4年生ゼミ旅行1（那須、08年10月20日）



4年生ゼミ旅行2（那須、08年10月20日）